

平成 25 年第 4 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
12 月 3 日 (火)	1	1	瀧 瀬 栄 子 議員	1
	2	2	岩 本 利 雄 議員	3
	3	3	中 野 良 雄 議員	4
	4	4	永 田 良 一 議員	5
	5	5	浅 田 直 幸 議員	6
12 月 4 日 (水)	6	1	平 野 直 幸 議員	7
	7	2	朝 長 隆 洋 議員	8
	8	3	田 口 昇 議員	9
	9	4	中 里 悟 議員	9
	10	5	小 嶋 俊 樹 議員	10
12 月 5 日 (木)	11	1	戸 浦 善 彦 議員	11
	12	2	杉 澤 泰 彦 議員	12

1. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

スポーツ環境の充実について

質問の要旨

西海市教育委員会は、子どもから高齢者までがライフステージやそれぞれの興味や関心・適正などに応じてスポーツを楽しむことができる「健康の里さいかい」を目指し、総合型地域スポーツの育成に力を入れているとしている。

また、西海市は来年 10 月に行われる「長崎がんばらんば国体」の新体操競技の会場となっている。それにふさわしいスポーツ環境の充実を図ることが必要ではないか。

そこで、以下のことについて問う。

(1)大瀬戸総合運動公園の陸上競技場に照明設備の設置を

小学生・中学生・高校生が午後 5 時過ぎから日の暮れた暗い中、陸上競技の練習をしている。早急に照明設備を設置してほしいと要望が寄せられている。

(2)大瀬戸総合運動公園のテニスコートにナイター設備を

平成 10 年 6 月に大瀬戸町議会一般質問で取り上げた件であるが、未だ実現できていない。しかし、平成 24 年第 4 回議会定例会の総務文教常任委員会における質疑に対して、「なるべく早く要望に沿えるように努めたい」と答弁がされている。

(3)西彼町大串グラウンド整備のため原材料の支給を

西海市が普通財産として所有し、大串郷が管理しているグラウンドは、地域の高齢者がグラウンドゴルフなどで活用するとともに、大串小学校のソフトボール部が練習場として使用している。排水状態が悪いので、子どもたちが足をとられないように整備してほしいとの要望が寄せられている。

質問事項 2

子どもの医療費を中学校卒業まで無料にする子育て支援について

質問の要旨

長崎県内では、松浦市と南島原市が子どもの医療費を中学校卒業まで一部負担を除き無料にしている。同じように西海市において実施する場合に、必要となる予算はいくらになるか。

また、年少扶養控除の廃止によって、本市における増えた税収はいくらになるか。その子育て世代の納めた増収分を活用することも含め、中学校卒業までの医療費無

料化の実現を。

質問事項 3

納税相談と徴税のあり方について

質問の要旨

納税相談をして国保税を分納していたAさんは、運転免許更新の際の視力検査で精密検査をすすめられ眼科を受診したところ、「このままでは1年以内に両目失明、左目は1か月以内に失明する。」との診断を受け入院をすすめられた。しかし、経済的理由から入院せずに通院をしている。

その状況の中で滞納があるとして、10月初旬に家財道具の一部を差し押さえられた。

Aさんは分納が滞ることがあったことを認めているが、深刻な病状に困惑している時期と重なっていて、市役所からの通知を見逃していたと思われる。

このような場合、状況を配慮して差し押さえを中止して、治療に専念できる支援をするべきではないのか。

質問事項 4

介護保険について

質問の要旨

社会保障制度改革国民会議が8月6日に政府に提出した報告書には、介護保険を改悪する内容が多く含まれている。

厚生労働省は11月14日、「要支援」向けの介護保険サービスを廃止し、市町村の事業に全面的に移すとの方針を撤回する考えを社会保障審議会介護保険部会に示した。

しかし、訪問介護（ホームヘルプ）と通所介護（デイサービス）については、あくまで市町村に移管するとしている。

西海市において、平成25年5月時点で、要支援1・2に認定された人は783人いるが、地域格差が生まれるのではないか。

また、特別養護老人ホームの入所者を要介護3以上にするとしている。こうなれば現在入所している人に当てはめれば15.6パーセントは対象外となり入所できなくなる。

市としての見解と国への要請を問う。

質問事項 5

教職員の処分について

質問の要旨

平成 25 年 8 月・10 月・11 月に開かれた西海市定例教育委員会において、教職員の処分が 3 回連続で審議がなされている。どのような事態になっているのか。議員として資料請求したが委員会で公開されていないことを理由に認められなかったが、少なくとも処分が決まれば、西海市職員の懲戒処分の公表に関する基準を定める訓令によって、速やかに公表して再発防止を図るべきであるが、その対応がされていないのはなぜか。

2. 岩 本 利 雄 議員

質問事項 1

収納について

質問の要旨

- (1)平成 24 年度決算において、市税の収納については、審査意見書のむすびで「徴収率の向上が顕著であると認められる」と、西海市監査委員から高く評価されている。自主財源収納状況表を見ると、市税（収入率 96.3 パーセント）に比べて下記 3 項目の収入率がかなり低い。その原因と対策は。
 - ①分担金及び負担金（収入率 82.8 パーセント）
 - ②使用料及び手数料（収入率 88.0 パーセント）
 - ③財産収入（68.8 パーセント）
- (2)延滞金は適正に収納されているか。平成 24 年度延滞金の総額は。
- (3)「収納課」を新設し収納に関する業務を一本化した方が、情報の共有化と効率的な収納業務が可能となる。収納率は向上し、トータル的には人員削減にも繋がるものとする。職員提案にも上がっており「収納課」を新設すべきと考えるがどうか。
- (4)納付機会を拡大し収納率向上を図る目的で、コンビニエンスストア収納を実施している。実施から現在までの利用状況は。
- (5)収納に関する取り組みを全庁的なものにするために、「収納強調月間」を設置したらどうかと、以前提案したことがある。検討するとの答弁だったが、検討したのか。

質問事項 2

焼酎による乾杯条例の制定について

質問の要旨

地元に醸造会社を有する自治体では、近年日本酒や本格焼酎による乾杯を推進する条例を制定している。最近では、壱岐市や鹿児島県いちき串木野市が本格焼酎による乾杯を推進する条例を制定した。目的は、地元の本格焼酎による乾杯の習慣を広めることにより、本格焼酎の普及を通じた焼酎文化への理解の促進に寄与するとしている。本市にも醸造会社があり、同趣旨の条例を制定すべく検討したらどうか。

3. 中野良雄議員

質問事項 1

国民健康保険事業の運営について

質問の要旨

- (1)国民健康保険事業の財政運営の現状と今後の見通しについて
- (2)国民健康保険事業の健全な運営と被保険者の負担軽減のため、医療費の抑制策として、一次予防対策の充実とジェネリック医薬品の利用促進並びに特定健診の受診率向上と一次予防への活用等について
- (3)国民健康保険税の収納率向上の取り組みについて

質問事項 2

防災対応の啓発と災害に対する備えについて

質問の要旨

- (1)防災組織の確立と災害対応について
- (2)防災知識の普及と防災対応の啓発活動について
- (3)防災会議の開催状況について

4. 永田良一議員

質問事項 1

農業振興について

質問の要旨

- (1)農林水産省の平成 26 年度農林水産予算概算要求案が提出されている。重点事項である農林中間管理機構関連事業で、担い手の農地集積、集約化等を加速化するための農地の中間受け皿の整備活用等支援と農地大型区画化等を推進している。西海市では、既に西海町に 30 ヘクタールの丸田地区大型農地整備が着工されているが、その後の状況はどのようなになっているか。
- (2)市としては、他の地区の大型農地整備計画案があるとのことであるが、どのようなになっているか。
- (3)減反補助金は、現在 10 アール当たり 1 万 5,000 円であったものが、2014 年度から 2017 年度までは 7,500 円とすることで合意したと報道された。2018 年度に廃止されるとのことだが、市は稲作農家や田地で転作を行っている農家等に対して、今後の振興策をどう考えているか。
- (4)西海市ライスセンターの今後をどのように考えているか。
- (5)耕作放棄地が増えている中で、既に山林化している農地が多くあると思われる。西海市でも太陽光発電の設置が見られるが、山林化している農地に設置したいという声も聞く。どう捉えているか。

質問事項 2

市道改良について

質問の要旨

市道横道潮見線改良は、平成 19 年度に一部改良されているが、セントノーヴァ病院を往復する車や救急車等、1 日約 200 台が往来し、5 回程事故も起きている。早急な整備を求める声を多く聞くが、市の対応は。

5. 浅田直幸議員

質問事項 1

定住化、移住の促進、雇用環境の充実について

質問の要旨

西海市の人口が減少している中、定住化、移住の促進、雇用環境の充実を図っていかねば、当市の将来の発展は期待できないと考える。そこで以下のことを市長に伺いたい。

- (1)西海市田舎暮らし総合プロモーション事業について、平成 19 年～平成 28 年までの 10 年間で移住世帯 20 世帯（2 世帯／年）、相談受付 100 件（10 件／年）を成果目標に掲げていたが、現時点での成果は。
- (2)今後、工業団地への企業誘致を積極的に推進されると思うが、定住、移住に関して、西海市として企業に対し要望等を提示して交渉に入られたのか。要望、条件等があるのであれば、お示しいただきたい。
- (3)西海市の現状では、若者が結婚しても西海市内に住んでみたいと思うような魅力ある施策が少ないと思う。勤務地は市外でもいいが、住むのであれば西海市がいいと思ってもらえるような思い切った施策を展開していただきたいと考えるが、市長の見解を伺う。

質問事項 2

西海町木場郷の温泉の利活用について

質問の要旨

合併直後、色々な問題があった温泉だが、バルブを開けるとすぐ温泉が出る状況の中、施設的には立派なものでなくてもいいと思うが、市民や観光客が気軽に利用できる温泉施設ができないものか伺う。

質問事項 3

学校現場での SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の現状について

質問の要旨

スマートフォンの爆発的な普及に伴い、高校生から小中学生までも、無料通話アプリ「LINE」が今や必要不可欠なコミュニケーションツールとなっている。学校現場での現状について伺いたい。

- (1)市内の小学校、中学校、高校において、携帯の校内への持ち込みは可としているのか。

(2)全国的にSNSによる犯罪に関わる件数が増えている状況の中、何時身近に起きるか不安である。SNSに関しての指導や講習などは行っているのか。

(3)実際に、ネットによるいじめ、その他の問題などはなかったのか。

6. 平野直幸議員

質問事項1

地元企業との連携について

質問の要旨

西海市発展の基本計画となる総合計画の後期計画においては、4つのテーマと共通キーワードの位置付けで推進することとなっており、その到達目標年度は平成28年度と定めている。

4つのテーマの1つにおいては、企業誘致の実現を掲げ、働く場の確保により、若者の流出に歯止めをかけ、定住化等につなげるとしている。

この計画に向かっての取組みは、喫緊の課題であると同時に、実現化は早急に図られなければならない問題である。それは、激減している西海市の人口問題対策にとって、最も重要な政策の1つになると考えるからである。

よって、能動的政策遂行の観点から、事業化している西海市工業団地の誘致策の選択肢に、地元造船企業等との連携を含める考えはないか。所信を伺いたい。

質問事項2

光ケーブル整備見込みについて

質問の要旨

情報化社会の進展は日進月歩を続け、今や日常生活や経済活動においては、必要不可欠な存在となりつつある。事業活動等には即効性も求められるとともに、特に、起業家や若者達にも光ラインの有無は、定住条件の1つになっている。

現在、市内の光ケーブルの整備環境は、地域的にみると一部に限っており、未整備地区の布設計画が必要と思われる。

また、後期基本計画では、平成28年度では100パーセント達成となっているが実現の可能性について伺う。

7. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

西海市歴史民俗資料館のあり方等に関する答申について

質問の要旨

西海市歴史民俗資料館のあり方等に関する答申について、地域振興の戦略的拠点としての「西海市民ミュージアム（博物館）」創設の提言が出されたが、以下の内容について質問する。

- (1)市内の3館ある資料館が老朽化してきたことと、コスト削減を理由として、3館を統合して博物館にすることだが、資料館を統合するという考えだけで進めてしまうと、結果的に博物館ではなく資料館で終わる可能性が高いと思うが、答申の内容を踏まえ、どのようなコンセプトで進めるのか。
- (2)答申が目指す方向性は、妥当な考えだと思うが、現在の資料館ですら利用者が少ない状況で、さらに西海市の可能性を高めていくとしたこの答申を具体化するには、かなりハードルが高く、綿密な計画と戦略を練り上げるべきと感じるが、成功に導くために、さらに様々な角度から検証した専門家による会議、あるいは市民と協働でまとめる作業が先に必要ではないか。

質問事項 2

国体での本市ならではのおもてなしの取組み状況は。また、本市のスポーツ振興の進め方は、市民協働の活動としてなされているか。

質問の要旨

国体までいよいよ1年を切り、どこの自治体もこのことを契機に市民協働の地域浮揚策を打ち出して来ているが、本市における状況とこれからの取組みを確認したい。

- (1)選手、関係者を含め、本市を訪れていただく方々に、おもてなしの心で、西海市に来て良かったなと思われ、いつまでも心に残る思い出として頂けるように、成功に導かなければならない。現在の取組み状況は。
- (2)国体を契機に、スポーツ振興あるいはスポーツを通じた健康の里づくりに向けた市民協働の活動を活発化すべきと考えるが、現在の取組み状況は。

8. 田 口 昇 議員

質問事項 1

西海市立小中学校適正配置事業について

質問の要旨

- (1) 次の区分ごとに、前期（H22～24年度）の成果と課題を伺う。
 - ・ 西海地区
 - ・ 大瀬戸地区
 - ・ 大崎地区
 - ・ 大崎高校との連携型中高一貫教育
- (2) 次の区分ごとに、後期（H25～27年度）の計画と取組みを伺う。
 - ・ 西彼地区
 - ・ 西海地区
 - ・ 大崎地区
 - ・ 雪浦小の対応は

質問事項 2

市有墓地の維持管理について

質問の要旨

- (1) 市内全域の墓地の市有化は終了したのか。管理委員会は全て設置済みか。
- (2) 墓地の維持補修等管理状況について、これまで墓地内の事業には原材料助成措置があったが、廃止になったと聞く。その後の対応について伺う。
- (3) 墓地への進入路新設改良、災害復旧の要望が多いが、対応について伺う。

9. 中 里 悟 議員

質問事項 1

新庁舎を早期建設の考えは

質問の要旨

- (1) まちづくりの拠点（核）としての市長の考えは。
- (2) 合併後設置されていた庁舎建設検討委員会での最終結論の内容はどのようなものだったのか。（断念の理由）
- (3) 当時の検討委員会での規模、事業費、財源、立地案で検討した具体的内容は。
- (4) 市長が庁舎建設に対し、踏み込んだ具体的発言をしない理由は。また、建設基金

の積立てを行わなかった理由は。

(5)再度庁舎検討委員会を立ち上げる考えはないのか。

(6)庁舎建設に関する市民アンケートを実施する考えはないか。

(7)効率的な行財政運営、事務のスリム化、効率化を図る必要があり、また旧町時代の既存施設も老朽化が進みこのままでは補修等に無駄な投資が必要となる。合併後、懸案事項だった大型事業（汚泥再生処理施設、ごみ処理施設）等も一定の目途が立った今、市長の任期中に新庁舎建設への方向性を示すべきと考えるが、市長の明確な答弁をお願いしたい。

10. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

学校教育について

質問の要旨

- (1)構造改革特別区域法に基づく教育特区の設置は考えていないか伺いたい。
- (2)次世代における地域活性化の目的で、英会話教育特区や環境教育実践特区などの実現は考えていないか伺いたい。
- (3)学制改革の推進がなされているようだが、小中一貫校や特色のある課題研究をテーマにした中高一貫校などの実現はできないか伺いたい。

質問事項 2

女性力の活用について

質問の要旨

女性の社会参加を促し、地域の活性化や産業の育成を図るため、女性力を高める「女性力推進課」の設置ができないか伺いたい。

11. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

西海市基地機能の整備について

質問の要旨

- (1) L C A C 運航の際の事前通告実施に向けた市の取組みと施設の運用状況について
- (2) モニタリングポスト設置要望後の現状について

質問事項 2

西海市の人口減対策について

質問の要旨

- (1) 人口動態の現状について
- (2) 交流人口（観光）の対策について

質問事項 3

西海市民の安心安全対策としての高潮対策は

質問の要旨

- (1) 災害対策が求められる地域は。
- (2) 当該地域の海岸延長線の長さとう人口数は。
- (3) 考えられる対策は。

質問事項 4

特別支援分教室の開校について

質問の要旨

- (1) 開校に向けた準備状況について

12. 杉澤泰彦議員

質問事項 1

西海市水道事業統合計画について

質問の要旨

平成 27 年度より大島ブロックが統合される。新たに浄水場を西海南中学校グラウンド跡地に建設し、日量 4,600 t 規模の水道事業が開始される。崎戸地区もこれに含まれ、約 50 年続いた現在のダイヤソルトからの原水供給にも終止符を打つことになる。次のことを聞きたい。

- (1) 旧崎戸町が原水供給を行うようになった経緯について聞きたい。
- (2) 9 月定例会の折、崎戸簡易水道へ原水を購入しているダイヤソルト株へ説明を行うという答弁があったが、いつ説明をしたのか、また、市として今後の利活用について何らかの協議がされたのか。

質問事項 2

大島地区し尿中継施設について

質問の要旨

議会からも再三にわたり指摘していた、バキュームホース洗浄用の水道設置はどうなっているのか。